



木曾町地域優良賃貸住宅



のしろ児童館



北陸新幹線小松駅

令和3年度決算報告

決算のあらましと市の財政状況

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)の決算についてお知らせします。

問い合わせ 財政課 ☎24・8144

特別会計(5会計)の決算

(単位: 億円)

会計名	収入	支出	差引
国民健康保険	101.1	100.4	0.7
介護保険	100.0	98.2	1.8
後期高齢者医療	16.2	16.2	—
産業団地	5.6	5.6	—
公債管理	101.1	101.1	—
合計	324.0	321.5	2.5

※企業会計では、資本的収支の不足分を、事業を運営して生じる純利益と現金支出を伴わない費用から生じる内部留保資金で補っています。

特別会計とは別に、市の会計には「一般会計」とは別に、国民健康保険や介護保険などの特定の事業を運営する「特別会計」と、病院や水道など民間企業のように事業収益を集めて運営する「企業会計」があります。

特別会計と企業会計

企業会計(3会計)の決算

(単位: 億円)

会計名	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道	27.3	22.8	4.5	1.1	8.3	▲7.2
下水道	40.7	39.1	1.6	27.8	47.0	▲19.2
市民病院	97.5	87.7	9.8	5.8	12.4	▲6.6
合計	165.5	149.6	15.9	34.7	67.7	▲33.0

収益的収支

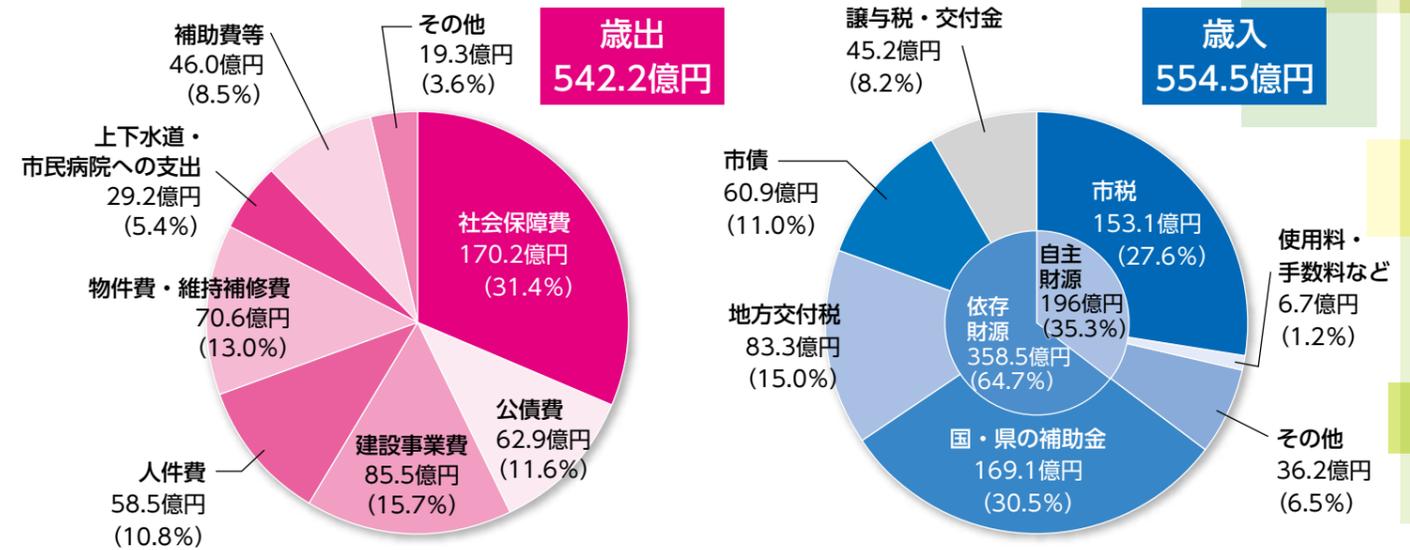
1年間の営業結果を表します。

資本的収支

施設の建設や整備に関する収支です。

一般会計の決算

※()内は構成比



歳入歳出差引: 12.3億円 翌年度繰越財源: 5.8億円 実質収支: 6.5億円

令和3年度決算の特徴

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のほか、北陸新幹線小松駅開業に向けた小松駅周辺整備や、松東こども園・のしろ児童館の建設、市営住宅跡地活用などの大型建設事業が増加したことから、歳出総額は令和2年度の過去最高に次ぐ542.2億円、歳入総額は令和2年度の過去最高に次ぐ554.5億円となり、歳入歳出差引は12.3億円となりました。

- ◆新型コロナウイルス感染症対策
 - ・子育て世帯臨時特別給付金
 - ・非課税世帯臨時特別給付金
 - ・おなかの赤ちゃん特別給付金
 - ・事業継続支援金
 - ・プレミアム付き商品券 など
- ◆まちの発展
 - ・小松駅周辺整備
 - ・市営住宅跡地活用
- ◆子育て環境の充実
 - ・松東こども園新築
 - ・のしろ児童館建て替え

決算の内容を更に詳しく知りたい人へ

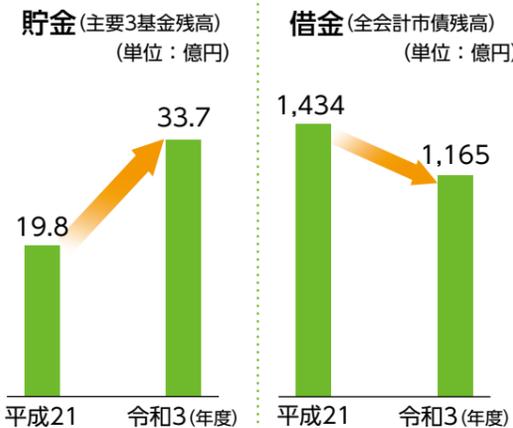
令和3年度決算の内容を分かりやすくまとめた「決算のあらまし」を作成しました。市ホームページからご覧になれます。



項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (一般会計の赤字度合い)	なし (赤字はありません)			11.93%	20%
連結実質赤字比率 (全会計を通じた赤字度合い)	なし (赤字はありません)			16.93%	30%
実質公債費比率 (市の借金返済額の割合)	14.3%	12.9%	11.9%	25.0%	35%
将来負担比率 (市が抱えている負債の割合)	142.2%	137.6%	118.8%	350.0%	基準なし
資金不足比率 (企業会計の資金不足の度合い)	なし (資金不足はありません)			経営健全化基準 20.0%	基準なし

健全化判断比率については、全項目で国が定めた早期健全化基準・財政再生基準を下回っています。また、実質公債費比率や将来負担比率は改善しています。今後も引き続き、健全な財政運営に努めます。

健全化判断比率の状況



小松市の市債(借金の残高は、平成21年度の1434億円をピークに借入の抑制や繰上返済を行ったことなどにより、平成22年度以降は減少に転じています。令和3年度には繰上返済を行うなど市債残高を約24億円改善し、全会計の残高は約1165億円となりました。貯金(主要3基金・決算積立後)は、複数年度間の財源調整などのために確保するもので、令和3年度末は33.7億円となっています。今後も様々な財政需要に対応できるよう貯金を確保しつつ、将来負担軽減に取り組めます。

市の借金残高・貯金残高